



第199号

2016年

5月19日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/>

メールアドレス [ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp](mailto:ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp)

目次: 1~2: 質問書・要求書を提出しました 3: 文科省会見に出席しました  
3: お知らせ 4: フーテン旅行記

## 「年俸制関連等に関する質問書その2」を提出しました



2016年3月1日付け、岡大職組申第81号の質問書について、回答をありがとうございました。その後いくつか疑問点が出てまいりましたのでまとめて質問いたします。以下の質問事項に関して口頭で説明していただく説明会を開催していただきたくよろしくお願いいたします。

### 質問事項

#### 1. 年俸制について

先日、月給制であった組合員からの情報によると、公募により昇任し年俸制になった際、月給制から年俸制になるにあつての人事課の内部ルールがあるとの説明を受けました。その内部ルールの文言全てを明らかにし、それぞれのルールの意図を説明してください。もし内部ルールの文言を明らかにできない場合には明らかにできない理由を説明してください。

#### 2. 内部昇任について

岡山大学における「内部昇任」の定義を教えてください。公募によるものであってもこれまで岡山大学に勤務していたものが昇任する場合は労働契約が連続するので「内部昇任」とみなすべきではないでしょうか。

#### 3. 2016年3月14日の「年俸制関連等に関する質問書に対する回答」の「1. 年俸制導入促進費について」の回答が理解できなかったため再度口頭での説明を求めます。

#### 4. 特別契約職員に対する年俸制の拡大についてという資料が3月16日の部局連絡会で出ていますが、これに関する説明を求めます。



## 「駐車場値上げに関する要求書その2」を提出しました

2016年3月1日付の駐車場値上げに関する要求書に対し早々の返事をありがとうございました。ご回答にまだ納得しかねる部分がありますので、再度下記のことを要求いたします。5月31日までに回答をお願いいたします。

#### 1. 平成28年度の予算はすでに決定されているはずである。平成28年度に駐車料収入において実施される環境整備とは具体的に何でその予算はいくらであることを明らかにすること。

#### 2. 教職員の臨時駐車許可については2016年3月までと同じく最高限度額を500円とすること。

理由: 片道5km以内の職員で必要なものには「特殊事情」による使用許可を認めるという回答があったが、その特殊事情とは「国立大学法人岡山大学(津島地区)構内交通規制等実施要項」によると1) 身体に障害がある場合、2) 保育または介護のため、3) 社会人学生が勤務先から通学する場合、4) 夜間・早朝に業務が必要で公共交通機関が利用できないことが常態である場合、5) その他部局長・理事が特に認めた場合、となっている。それ以外は外来者と同額である。その外来者料金は今回1日の最高限度額が千円に値上げされている。

教職員の場合、多くの場合が長時間駐車する必要があると思われる。1日駐車して千円というのは岡山大学の多くの非常勤職員の時給より高い。教職員が業務に関わって臨時駐車をする場合はこれまで通り1日500円とすべきであるとする。またシステムの的にもそれは可能であるとする。

3. 今後毎年度の駐車場料金の収支決算を組合に対して開示すること。

## 「普通解雇および論文不正問題に関する質問書その2」を提出しました

法務・コンプライアンス対策室 御中



普通解雇および論文不正問題に関する質問書(岡大職組申79号)への回答ありがとうございました。回答の中にまだ不明な点がありましたので、再度質問させていただきます。5月20日までに書面で回答をお願いします。

1. 森山氏らの普通解雇の理由は、「非違行為」・「不適切な行為」があったために本学教授に必要な適性を欠くということでしたが、「非違行為」・「不適切な行為」というのはどういうもののことでしょうか。例えば森山氏らの場合はどのような行為だったのかなど、具体的な例を挙げて説明してください

2. 研究活動に係る不正行為への告発に関することですが、前回の質問書の質問2と質問3への回答を総合しますと、不正を法人監査室に対して告発し、その調査委員会の結果に納得できず不服申し立てをし、さらに不服申立委員会の結果にも納得できない場合、外部に告発してもよいと理解してよろしいでしょうか？

2015年12月28日に薬学部元学部長ら2名が普通解雇となりました。この聞きなれない「普通解雇」とはどのようなものか、またこの解雇と論文不正問題が関連付けて報道されていることについて2016年2月1日に質問書を提出し2月17日に回答を得ています(組合だより197号掲載)。これによって普通解雇に至るまでの手続きの経緯は明らかになりましたが、依然としてなぜ「普通解雇」となったのかは明らかになっていません。また解雇事由に論文不正告発を行ったことは含まれていないとの回答でしたが、論文不正告発の方法が問題視されたのではないかと疑問が残っています。そのため今回2回目となる質問書を提出し5月17日の時点で回答待ちの状況です。

## 「スペースチャージ導入に思う」



2016年4月に岡山大学にスペースチャージが導入された。教育・研究スペースについては一平方メートルあたり年間600円と、安いのか高いのかよくわからない金額が設定された。3月16日付の教育研究評議会の資料によればこれにより徴収される金額はおよそ1.2億円らしい。ここ数年岡山大学が国から受け取っている運営費交付金はだいたい180億円前後なので、スペースチャージで徴収される金額は運営費交付金の0.7%程度となる。これもまた多いのだから少ないのだからよくわからない。

全大教で他大学の情報を聞いてみた。大阪大学では以前から一平方メートルあたり年間500円のスペースチャージが課せられているようだ。岡山より安い。東京海洋大では岡山大学と同じ2016年4月からスペースチャージが導入されるようだ。一平方メ

ートルあたり年間1900円。東京だからだろうか、桁が違う。他の大学からは特にスペースチャージの情報はなかったが研究費がどんどん削減されているという声が多かった。「スペースチャージ」も結局のところ研究費削減なわけだが、「言い訳」をつけているだけまだ良心的と捉えるべきなのだろうか。

この4月になって、いよいよ大学にお金がないのだな、と思わせることが続いている。スペースチャージ然り。光熱費にもチャージが行われる。駐車料金も値上げになった。職員証もグレードダウンした。4月20日の部局連絡会資料を見ると「学都基金」と称して大学内外から寄付を集める計画もあるらしい。大学外からお金を集めるのは大いに賛成だが、大学内からお金を集めようとするのは筋が悪い。自社製品を社員に売るブラック企業と発想が同じである。

「貧すれば鈍する」ということがないよう切に願う。(笹倉万里子)

## 3/24 全大教文科省会見に出席しました

全大教は3月24日、文部科学省において、国立大学附属病院問題で手島英雄文部科学省大学病院支援室長らとの会見を行いました。岡山大学からは、病院協議会幹事として小河が参加させていただきました。

予算関係では、補正予算では今回病院関係は含まれなかったが、運営費交付金は前年度同額、従来補正で見ていた医療機械設備費なども新年度予算で措置できたこと。債務償還経費の考え方は従来と変わらないが結果として減額となっている。その分、医師等の教育研究基盤充実に上乘せすることができたこと。消費税増税に伴う負担増については、診療報酬で考慮されているが、大病院への補填が不十分との分析もある。病院長会議等とも連携し要望して行きたいとの表明がありました。

大学病院に働く職員の専門性を踏まえた賃金水準の引き上げについては、基本的に各大学の判断に基づき行うべきもので、文科省としては、各大学における改善事例の紹介、教育・研究面での充実に努力したいと従来の基本的な立場を表明することにまりました。

労働条件改善問題では、特に看護現場で二交代にシフトしていること。看護協会の調査で、国立大学の離職率が、全国平均で1.7%低く、新人でも2%程

度低いこと。看護師総数も900名程度増員となったが、夜勤ができない人も多くなり、改善を実感できていない。また、看護協会のガイドラインの特に勤務の拘束時間13時間以内と交代の方向(正循環)が満たされていないとの認識を示しました。全大教としては、昨年10月に実施した看護職員アンケート自由記載欄に示された声を資料として提示するとともに、今後、同結果に基づく懇談を要望しました。

国立大学附属病院の地域医療連携法人への参画問題については、岡山大学以外の他の国立大学法人では、その様な構想はまだ文科省には伝わっていないとの説明があり、OUMCの取り組みに関して文科省として評価しているとの説明がありました。また進行状況について、岡山大学側からの提案と説明を待っている段階であり、文科省としてはその提案に沿って必要な法制面での措置を考えているとの説明でした。これは現段階では何も決まっていないし、岡山大学の学内でもっと議論する必要があると受け取れる内容でした。岡山大学職組としては、今後の方針を学内一部の検討メンバーだけではなく、関係教職員全員に対して明らかにさせた上で、必要に応じて交渉等を実施する必要があるのではないかと感じました。(小河達之)

## 無料法律相談『ユニオン』をご利用ください

セクハラ、アカハラなどの労働環境問題、あるいは個人的な問題でも、法的な相談をしたい組合員のために顧問弁護士を置き、希望者には、最初の弁護士相談を無料で受けられる「ユニオン」を設けています。プライバシーを厳守するために、組合執行部とは別組織である人権部が相談を受付けています。法律相談は、随時、弁護士事務所で行います。相談を希望される方は、人権部までお申し込みください。連絡先：藤井和佐 文学部教授(内線8451)

## 2016年度定期大会のお知らせ

日時：6月15日(水) 18:00～

場所：一般教育棟 A31

\*各単組の代議員の方、ご出席ください。

\*終了後、懇親会があります。

\*代議員でない方も大会にオブザーバー参加懇親会に参加できます。新加入の皆様もどうぞご参加ください。

## 教員のみなさま

全大教 教員アンケート「教員の研究・教育・勤務条件改善に関するアンケート」にご協力ください。今回はウェブでアンケートを実施します。

〈回答Webページ〉はこちらです。

[http://zendaikyo.or.jp/?page\\_id=996](http://zendaikyo.or.jp/?page_id=996)

よろしくお願ひします。

詳しくは、配布のチラシをご覧ください。

岡山大学職員組合 加入申込書 (組合役員または、学内便にて組合事務所宛に提出してください)

岡山大学職員組合に加入します。同時に組合費の口座引き落としに同意します。

氏名： \_\_\_\_\_ 性別： 男・女 所属： \_\_\_\_\_

職種： \_\_\_\_\_ 連絡先(内線・E-メールなど) \_\_\_\_\_



## ローカル線で行く！フーテン旅行記

## 第33回 北海道の終着駅めぐり

## 札沼線/留萌本線

工学部単組 大西孝

北海道新幹線が開通しましたが、一方でJR北海道の在来線は厳しい状況におかれています。特に北海道新幹線の開業と同時に行われたダイヤ改正では、北海道内の普通列車の一部が減便され、その結果として、1日に1往復しか列車が発着しない駅ができました。その駅が、札沼(さっしょう)線の終点駅、新十津川駅。札沼線とは、聞きなれない路線名かもしれませんが、もともとは札幌駅の隣、桑園(そうえん)駅から留萌(るもい)本線の石狩沼田(いしかりぬまた)駅を結ぶ路線でした。ところが、途中の新十津川から石狩沼田の間は、1972年に廃止され、それ以来、桑園駅から新十津川駅の間を結ぶ行き止まりの路線になっています。途中の北海道医療大学前駅までは、2012年に電化され、札幌の近郊区間として多くの列車が運行されていますが、そこから先は電化されず、1両だけのディーゼルカーがぼそぼそと走っています。特に、末端区間の浦臼駅から終点の新十津川駅までの間は、今年春のダイヤ改正で何と1日1往復のみの運行となってしまう、終点の新十津川駅は、最終列車が午前9時半過ぎという、何とも珍しい状況になりました。しかし、1日1往復となると、却って希少価値が増し、ぜひ訪れたいという方もいるかもしれません。そうは言っても、これまで来た同じ路線を引き返すのもいささか面白くありません。実は新十津川駅は、北海道の幹線である函館本線の滝川駅から3km程度の所に位置しています。新十津川駅から石狩川を越えて歩いても、1時間程度で滝川駅に着けますし、滝川駅方面の路線バスも近くの新十津川町役



新十津川駅に到着した1両だけディーゼルカー。今年の3月までは3往復の列車が発着していましたが、今は1日1回しか列車が来ません。

場から出ています。なお、この新十津川という名前は、明治時代の中ごろに奈良県の十津川村から入植した人々によって開拓されたことに由来しており、新十津川町役場には、望郷の碑が建立されており、北海道の開拓民の苦労がしのべれます。

もう一つ、味わい深い終点駅もご紹介しましょう。こちらは、かつて札沼線が接続していた留萌本線の終点、増毛(ましけ)駅です。こちらは2016年12月5日に廃止が決まっている、留萌本線の末端区間、留萌～増毛間の終点に位置する駅で、1日6往復(平日は1日6.5往復)の発着があります。しかし並行する国道に留萌から増毛間の路線バスが走っており、必ずしも鉄道でないといけないところでもありません。この駅は、かの高倉健さん主演の映画「駅 STATION」のロケ地にもなり、駅の背後には灯台がそびえるなど、非常に趣深い駅です。地味ながらも長い間、地域の足を支えてくれた駅や路線に、最後の日まで安全に輸送の使命を果たしてほしいと思います。

終着駅には、独特の佇まいがあります。特急列車が並ぶ賑やかなステーションも魅力的ですが、地味ながらも地域に根差した味わい深い駅も、日本の各地に残っています。いつまでもそんな駅が残ってほしいと思いながら、北の2駅をご紹介します。



留萌本線の終点、増毛駅に到着した列車。地元のお客さんが、列車に乗り込みます。



小ぢんまりとした増毛駅の駅舎。「駅 STATION」のロケ地にもなりました。